

愛知県立半田高等学校

スーパーサイエンスハイスクール事業

SSH 通信



知る！

Vol. 2 2021. 6. 7 SSH 部



SSH 成果発表会・
アントレプレナーシップ
講演会の様子



実施報告

～SSH 成果発表会・アントレプレナーシップ講演会～

5/25(火)に SSH 成果発表会・アントレプレナーシップ講演会を実施しました。

コロナ禍ということもあり、Zoom を使用した形での実施となりました。

SSH 成果発表会では、生徒は科学英語プレゼンスキルアップ講座、サイエンスコミュニケーションなど 8 件の研究の成果をスライドを使用して、工夫に富んだ発表をすることができました。

アントレプレナーシップ講演会では、各界で活躍している本校 43 回生の卒業生から「不確かな時代に、自分の道を拓く」と題して、お話をいただきました。

「思考を停止させない」、「肯定と否定をしながら正しく課題を解決する」、「不安な時ほどチャレンジをする」など、生徒たちも普段あまり聞くことができない内容の話ということもあり、多くの学びがありました。

講演会後の座談会も 20 名近くの生徒が参加しました。議論が活発な会となり、予定していた時間を超えるまで質問が出るほどでした。参加した生徒も偉大な先輩方の生の声が聞くことができ、有意義な会になりました。



参加生徒の声

～SSH 成果発表会～

- ・同じ学校の先輩方が、英語で世界の学生に情報を発信していることがわかったので、私も是非参加したいと思いました。
- ・他者との意見交換によって自分とは別の視点から物事を捉えることの大切さが分かりました。
- ・先輩方が英語をスラスラと話しているのを聞いてすごいと思った。また、話がとてもまとまっていて聞きやすかった。
- ・まだ 1 年生ですし、知らないことばかりだったけど、このプレゼンテーションを通して、積極的に行動する必要があると思いました
- ・仮説⇒実験⇒仮説⇒実験の繰り返しをすることが、発言に力を与えているんだと思った
- ・今、必要とされているのは、ただの科学的な知識や能力ではなく、それを国際的に発信していく能力だと感じた。



参加生徒の声

～アントレプレナーシップ講演会～

- ・今の同級生とこういう仲になれたらなって思うくらい楽しそうだったのがあこがれた。すごい人はみんな挑戦し続けているし、自分の大切にしたいことがちゃんと明確にあるんだと思った。
- ・「面白くないものなんてない」という言葉を聞いて、今まで興味がないと思っていた物事も、実は突き詰めるととても奥が深くて面白いのではないだろうか、と考えるようになり、視野がかなり広がった。
- ・好きなことをとことんやるのが大切だと思った
- ・変態(いい意味で)になれるようにしたい
- ・まだ自分が将来やりたいことが具体的に見つかっていなくて、今まで不安に感じることもあったのですが、目の前の勉強や人間関係、部活動など、今の自分にできることを精一杯頑張ろうと思うようになりました。



【特集】

名大みらい育成プロジェクト・名大MIRAI GSC（半高生のみ）

名大みらい育成プロジェクト - 国際環境で地球規模の問題に挑戦する - とは？

地球規模の課題について、英語も用いて講義・グループ演習・プロジェクト型学習を行います。

英検準2級程度の英語力が必要。選抜あり。最終ステージで海外研修を予定！

国際的に活躍できるリーダー人材の資質を高められます！

第1ステージはオンライン講義。7月10日(土)、7月17日(土)、7月24日(土)の3日間。

名大MIRAI GSC - 未来の博人材育成プログラムとは？

自然科学について、英語も用いて講義・実験実習、成果発表とディスカッションを行います。

英検準2級程度の英語力が必要。選抜あり。最終ステージで海外研修を予定！

大学の最先端技術を利用した研究を通して、未来の博士人材としての資質を高められます！

第1ステージはオンライン講義。7月27日(火)、7月31日(土)、8月3日(火)の3日間。



昨年度参加者の声



～名大みらい育成プロジェクト～

3 学年生徒

このプロジェクトは、月に1・2回土曜日に開催されていて、すべて英語で行われます。3つのステージがあり、その都度選抜があります。

まず、第1ステージでは、英語の講義を聴いて、そのテーマについての自分の考えを小論文にしました。講義を聴いた後、小論文のテーマとなる質問が提示されます。講義を聴いた直後にその講義の内容を踏まえて自分の意見を考えることで、講義の内容に対する理解が深まったと考えています。次に、第2ステージです、このステージでは、参加者4人ずつのグループに振り分けられます。講義を聴くところまでは第1ステージと同じです。そのあと、チームでディスカッションをして考えをまとめ、プレゼンを行います。制限時間の中で、効率よく意見をまとめてプレゼンを作成し、発表するという、今までにない経験ができました。最後は、第3ステージです。やっとコロナが少し収まって、実際に名古屋大学に行って、対面でできるようになりました。このステージでは、講義を聴いて、そのテーマについてディベートをしました。私はディベートの経験があまりなかったので、とても新鮮でした。さらに、チームで決めたテーマについて探究活動を行いました。私のチームでは、防災意識を高める方法についての探究を行いました。チームのみんなで探究活動をしたのはとても楽しかったです。

また、このプロジェクトを通して得られたことについて3つ話します。1つ目は、問題意識の向上です。今まで、移民問題などの世界規模の問題について、そこまで深く考えたことはありませんでした。しかし、講義を聴いて自分のアイデアをアウトプットしていく中で、大きな問題をより身近にとらえることができるようになりました。2つ目は、処理能力の向上です。制限時間のある中で、できるだけ質の高いものを仕上げようと試行錯誤しました。また、このプロジェクトは月に1・2回土曜日に開催されているので、定期テストとかぶってしまうことが度々ありました。しかし、勉強の効率をできるだけ上げようと努力した結果、順位は今までと変わりませんでした。ここで向上させた処理能力が、今も生きていて感じています。3つ目は、言うまでもありませんが、英語力の向上です。英語を使う回数が圧倒的に多くなるので、事前資料を読む Reading、講義を聴く Listening、意見交換をする Speaking、情報を発信する Writing のすべての能力が高まったと実感しています。

少しでも興味があれば、ぜひ参加してみてください！